

2022年7月1日

報道関係各位

関電不動産開発株式会社

「関電不動産渋谷ビル」新築工事着工のお知らせ

関電不動産開発株式会社（本社：大阪市北区、社長：藤野研一）は、東京都渋谷区渋谷三丁目において開発を進めている「関電不動産渋谷ビル」の新築工事を7月1日に着工しましたのでお知らせいたします。

計画地は、4社8路線が乗り入れるターミナル「渋谷」駅を利用可能な交通利便性に優れたエリアに位置すると同時に、恵比寿・代官山方面へと繋がる落ち着きを感じられる希少性の高い立地です。

本件ビルは地上12階、地下1階、延床面積約14,370㎡の中規模テナントビルであり、基準階貸室面積は1,000㎡（約302坪）の無柱オフィス空間を実現しています。

計画に際しては、『OUR PLACE. OUR STORY. 「らしさ」あふれる、わたしたちのオフィス』を開発コンセプトとし、多様化する働き方や渋谷に拠点を構える企業のニーズに対応すべく、貸室には前面に奥行約2.5mの専用テラスや、オフィスキッチン等を設置できる「水回り設置可能エリア」を設け、最上階にはイベントなどで活用できるルーフテラスや、ルーフテラスと一体的に利用できるラウンジ空間を計画しました。これらの仕掛けにより、企業ブランディングやコミュニケーション活性化等、次世代のオフィスニーズに応える空間を提案します。

省エネ性能については、センサーによる照明・空調の自動制御や高効率中央熱源による外気処理システムなど、様々な環境配慮技術を採用することで設計段階での「ZEB Ready」認証及び建築物省エネルギー性能表示制度（BELS）の最高ランク（☆☆☆☆☆）を取得しています。

BCP対応としては、新耐震基準の1.5倍以上の高い耐震性能を確保。さらに付加制振として株式会社竹中工務店にて特許出願中の制振システムを採用し、より高い耐震性能を実現します。異変電所2回線受電の採用、貸室へも電力供給可能な72時間対応非常用発電機を設置し、テナント企業の事業継続を支援します。

本件ビルは、2022年5月竣工の関電不動産八重洲ビル（中央区京橋一丁目）に続く都内のオフィス開発プロジェクトであり、首都圏エリアにおいては引き続き積極的な不動産開発を推進してまいります。

【計画概要】

所在地 : 東京都渋谷区渋谷三丁目 20 番 1 他 12 筆 (地番)
敷地面積 : 2,085.51 m² (630.86 坪)
延床面積 : 14,369.09 m² (4,346.64 坪)
構造規模 : 鉄骨造 地上 12 階、地下 1 階、塔屋 1 階
主要用途 : 事務所・駐車場
設計・施工 : 株式会社竹中工務店
着工 : 2022 年 7 月 1 日
竣工 : 2024 年 2 月 20 日 (予定)

■ **本ニュースリリース配布先**

国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会、大阪建設記者クラブ

【添付資料】 … 別紙

- ・「関電不動産渋谷ビル」外観予想図
- ・「関電不動産渋谷ビル」物件所在地 (位置図)

以 上

(別紙)

「関電不動産渋谷ビル」 外観予想図



「関電不動産渋谷ビル」 物件所在地 (位置図)

